

# 前橋青春の会 会報 Vol.6

## The Youth Society of Maebashi

2005年5月27日発行

### 青春の会について

昨年の「前橋青春の会」の総会では、「新青春の会」(東京)の山本佳子事務局長に講演をしていただきました。なぜ「新青春の会」なのでしょう。「青春の会」(東京)は、昭和60年(1985年)に宮澤次郎氏(当時のトップ・ムーア株式会社代表取締役社長)を中心に設立され、平成8年5月には、正会員(個人)

1377名、賛助会員(法人)130社にまで達していました。その後、平成11年に設立者である宮澤会長の逝去に伴い平成12年3月31日をもつて解散しました。しかし、「青春」の詩に熱い想いを寄せる有志数名が「新青春の会設立発起人」として集い、平成15年10月18日に「新青春の会」として設立されました。

青春の会が一般的な任意団体と異なるのはまさにこの熱意、想いによつて成り立つている会と

いうことです。だれかの為でなく、だれかに頼まれたのではなく、「青春」の詩を愛する心によつて設立・運営されています。この思

いがある限り、その意思を受け継ぐ人が1人でもいる限り、青春の会はなくならないのです。派手な活動や、目立つ事はありませんが、「青春」の詩に思いを寄せる人々の心のよりどころとして「前橋青春の会」を存続させたいと思っています。

(会長)

### 青春 サムエル・ウルマン



青春とは人生のひとときのことではなく健やかな心の持ち方大切なのは薔薇色の頬、深紅の唇、しなやかな肉体ではなく強い意志、豊かな想像力、生き活きとした感情青春とは人生という深い泉の新鮮な時期のこと  
青春とはたやすい事より冒險を求める  
臆病に打ち勝つ勇気のこと  
それは20歳の青年より  
60歳の人々のなかに見つけることができる  
誰も歳月だけで老いはしない  
自分の理想を諦めることで老いるのだ  
歳月は肌に皺を刻むが  
情熱を亡くすことは心に皺を刻む  
悩み疲れ、不安が心に芽生え  
精神をつまらぬものに変えてしまう

60歳であろうと16歳であろうと全ての人間の心には不思議なことに惹かれる心、幼な子のような未知への尽きぬ探究心、人生への喜びがあるあなたも私も心の中で美しい、希望、活力、勇気、力を人々や神から受け取るのは若いということ  
諦めて精神が皮肉の雪と悲觀の氷に覆われるとき20歳であろうと老い楽しみの波を捕らえようとする気持ちがある限り80歳でも青春なのだ

訳者 川鍋洋子

## The “Youth” Society of Maebashi



総勢13名のアーティストグループが、バーミングハム市から来橋し交流を深めました。歓迎パーティは前橋国際交流協会と前橋青春の会の共催で、市内のレストラン「トラットリア・オルヴィエト」で行われました。今回のパーティでは、先方の意向もありカジュアルな形式のパーティとし、和やかな雰囲気のうちに交流が行われました。リラックスした交流の結果、打ち解けあつた有志が集まって急遽2次会へ繰り出しました。2次会はカラオケボックスで行われ、バーミングハムの歌や前橋ブルースなど、それぞれの市の歌を歌いあうなどして大いに盛り上りました。

パーティでは、贈られた前掛けを早速腰に巻いて、漢字の意味を尋ねたりして大喜びでした。

アーティストグループ来橋

## シティマラソン選手来橋

平成17年  
4月24日に前



平成17年 4月24日に前橋シティマラソンが開催され、姉妹都市のバーミンガム市とオルビエート市から選手が来橋しました。歓迎パレード。

平成16年の夏、シティマラソンの選手として来橋した事のあるボブ・クラークさんが、子供2人と共に前橋市にホームステイに訪れました。前橋市の市民が先にバーミングハム市のボブさんの家にホームステイをした事から今回の来橋となりました。手作りの交流パーティが同宅で行われ、事務局からも参加し交流を深めました。前橋とバーミングハムの民間交流は着実に行われています。

## その他の活動



## ・入会のご案内

## 前橋青春の会とは…

サムエル・ウルマンの詩「青春」や優れた先人たちの残した教え・格言に学び、自己啓発に努め、会員相互の親睦を図ると共に、サムエル・ウルマンの活動の地、ハイキングハム市民との民間交流の推進を目的とした会です。

前橋青春の会では、随時賛同者の方を募集しております。  
お問い合わせ、申込書のご請求は事務局までどうぞ。

〒371-0847 前橋市大友町3-12-9 東峰ビル

前橋青春の会事務局 担当 遠藤

TEL.027-254-5239  
FAX.027-254-5259

